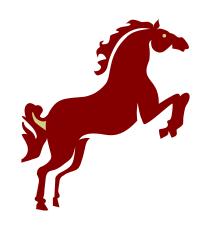
札幌市の年男・年女 - 平成 26 年 午年 -



平成 25 年 12 月

札幌市市長政策室政策企画部企画課

新年を迎えるにあたり、平成25年12月1日現在の「住民基本台帳」をもとに「年男・年女(午年)」 を取りまとめましたので、紹介します。なお、数値は百人単位に四捨五入しています。

「午年」生まれの人口は 147,900 人

平成25年12月1日現在の「住民基本台帳」によると、26年に「年男・年女」となる「午年」生ま れの人口は 147,900 人で、全市の 7.66%を占め十二支の中では 11 番目となっている。なお、十二支 別にみると、最も多いのは「丑年」で171,500人(8.89%)、最も少ないのは「酉年」で147,200人(7.63%) となっている。

(%) 9.5 9.0 8.5 8.0 7.5 辰 巳 午 未 申 酉 戌 子 丑: 寅 卯 亥

第1図 十二支別人口割合(平成25年12月1日現在)

注: 第1表参照。

<資料> 市長政策室政策企画部企画課

第1表 十二支別人口

住民基本台帳による。数値は百人単位に四捨五入している。

					平成25年	平成25年12月1日現在		
区 分	子	丑	寅	卯	辰	巳		
人口	168,000	171, 500	168, 900	165, 600	167, 700	166, 200		
構 成 比 (%)	8. 70	8.89	8. 75	8. 58	8. 69	8.61		
人口順位	3	1	2	6	4	(5)		
区 分	午	未	申	酉	戌	亥		
人口	147, 900	155, 200	152, 300	147, 200	155, 500	164, 100		
構 成 比 (%)	7. 66	8.04	7.89	7. 63	8.06	8. 50		
人口順位	(1)	9	10	12	8	7		
/ 资料 > 一古長政策会政策 / 面如 / 面調								

<資料> 市長政策室政策企画部企画課

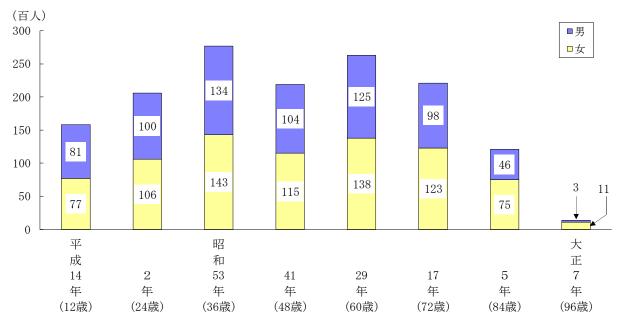
男性は69,100人、女性は78,800人

「午年」生まれの人口を男女別にみると、男性は 69, 100 人、女性は 78, 800 人となっており、女性 が 9,700 人多くなっている。

昭和 53 年生まれが 27,700 人で最も多い

「午年」生まれの人口を出生年別にみると、昭和 53 年生まれ (36 歳) が 27,700 人で最も多く、以下、29 年生まれ (60 歳) が 26,300 人、17 年生まれ (72 歳) が 22,100 人、41 年生まれ (48 歳) が 21,900 人などと続いている。

第2図 出生年、男女別「午年」生まれの人口



注: 第2表参照。

<資料> 市長政策室政策企画部企画課

第2表 出生年、男女別「午年」生まれの人口

住民基本台帳による。数値は百人単位に四捨五入しているので、内訳の合計は必ずしも総数に一致しない。 () 内は、平成26年に誕生日を迎えたときの年齢である。

平成25年12月1日現在 平成14年 2 年 昭和53年 年 年 17 年 年 大正7年 41 29 男 女 総数 (12歳) (36歳) (48歳) (60歳) (84歳) (96歳) (24歳) (72歳) 数 147,900 15,800 27,700 12, 200 1,400 20,600 21,900 26, 300 22, 100 男 69, 100 8, 100 10,000 12,500 9,800 4,600 300 13, 400 10,400 78,800 7,700 10,600 14, 300 11,500 13,800 12,300 7,500 1, 100

<資料> 市長政策室政策企画部企画課

~午年にちなんだ統計のはなし~

午年生まれの人口を出生年別にみると、第2図のとおり、昭和41年生まれは、前後の午年(53年、29年)生まれに比べて少なくなっていますが、これについては、丙午(ひのえうま)に関する迷信が影響しています。

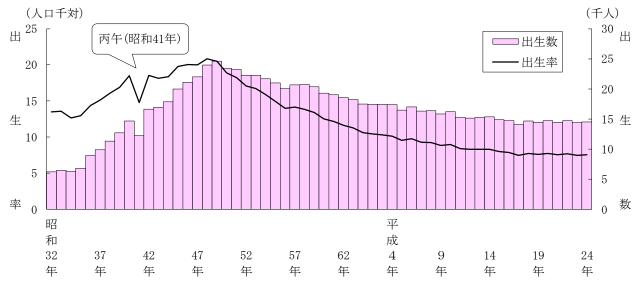
丙午とは干支の一つで、十干(甲・乙・丙・丁・戊・己・庚・辛・壬・癸)と十二支(子・丑・寅・卯・辰・巳・午・未・申・酉・戌・亥)の組み合わせにより60年周期で訪れ、直近では41年が丙午に当たります。

この丙午について、丙午の年に生まれた女性は気性が激しいなどの迷信が江戸時代に広まり、以降、 丙午の年は出生数が少なくなる傾向が現れました。

札幌市において 41 年の丙午が出生にどのような影響を与えたかをみてみると、40 年に 18.5 だった 出生率(推計人口千人に対する出生数)は、丙午の 41 年には 14.8 まで急激に低下しています。翌 42 年には 18.6 と 2年前の水準まで戻っており、丙午の年だけが前後の年に比べてはっきりと低く、迷信 が出生に大きな影響を与えたことをみてとることができます。

次の丙午は13年後の平成38年です。少子化が進んでいる中、今後の出生の動向に注目していきたいところです。

札幌市の出生数及び出生率の推移(各年中)



注: 出生数は住民基本台帳による。出生率は推計人口千人に対する出生数。 <資料> 市長政策室政策企画部企画課